

救急車・ホットラインの応需率

救急車受け入れ要請のうち、何台受け入れができたのかを示しています。この指標は、救急診療を担当する医療者の人数、診療の効率化、入院を受け入れる病棟看護師や各診療科の協力など、様々な要素が関わってきます。

【当院の活動】

当院は横浜市2次救急拠点B病院として、救急医療体制の充実を図り、出来る限り救急車を受け入れできるよう努めています。夜間は内科、脳神経外科、外科または整形外科の3名の医師が当直し、緊急手術や緊急内視鏡にも対応しています。

対象病棟： 一般病棟、回復期病棟、地域包括ケア病棟

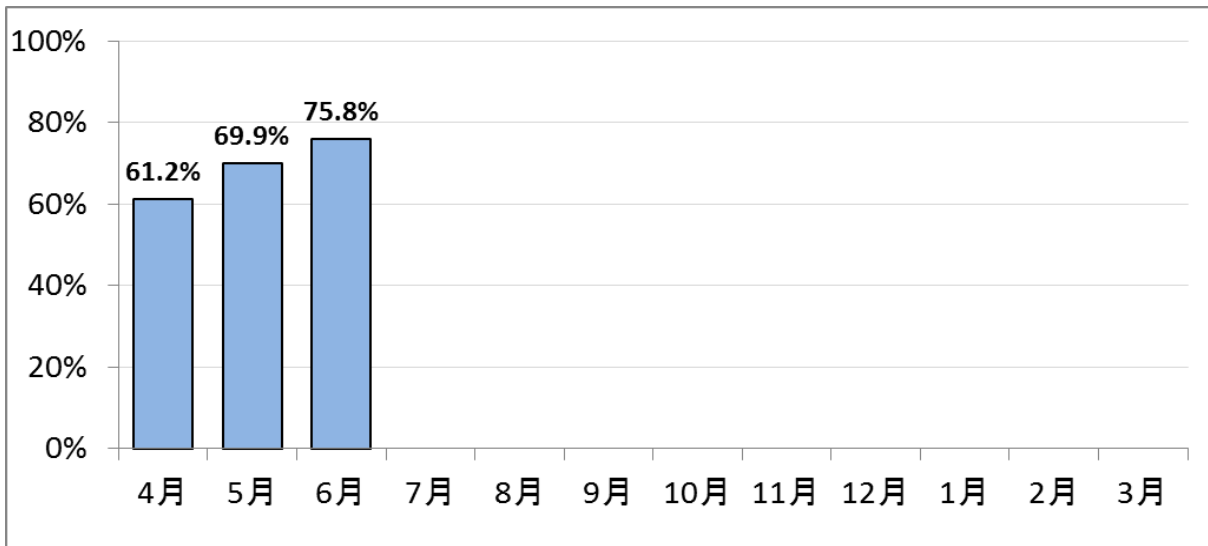
計算式：

$$\frac{\text{分子) 救急車で来院した患者数}}{\text{分母) 救急車受け入れ要請件数}}$$

対象期間： 毎月

データ件数:

	2022年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分子	224	251	317									
分母	366	359	418									
応需率(%)	61.2%	69.9%	75.8%									



●年度別比較

データ件数:

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
分子	3,002	3,031	2,754	2,707	2,229	2,654
分母	4,116	4,221	3,862	3,762	3,585	4,613
応需率(%)	72.9%	71.8%	71.3%	72.0%	62.2%	57.5%

